

ごみ減量キャラクター
エコアちゃん

6月は 環境月間

みなんで始めてみませんか？
今日からできる「ごみ減量」！

市では年4回、家庭から出されるごみの割合などがどうなっているかを調べるため、「秋田市家庭ごみ組成調査」を行っています。この調査で分かった気になるポイントをお知らせします。



リサイクルできる古紙が大量に…

リサイクルできる古紙が
家庭ごみに捨てられています

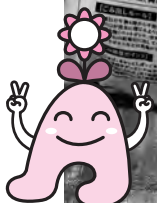
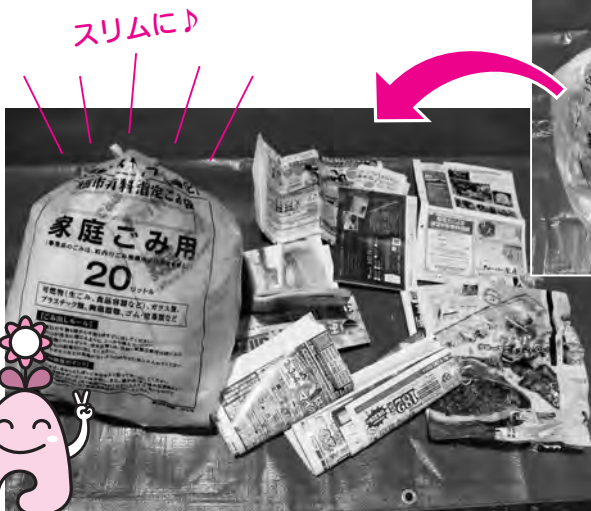
家庭ごみの中を調べてみてビックリ！袋の中から、リサイクルできるたくさんのお紙が出てきました…。ちよつとした分別のひと手間も、みなんで取り組めば資源リサイクルの大きな成果につながります。

■古紙は、「新聞・チラシ」「段ボール」「紙パック」「雑誌・雑がみ」の種類ごとに分けて、紙ひもで束ねて指定日に集積所に出してください

古紙を分別すると小さい袋に入れることができます

家庭ごみ30リットの袋の中にあつたごみから古紙を分別したら、その残りは20リットの袋に入れることができました。分別できるものは分別し、ごみを減量することで、

袋の大きさもサイズダウン！ごみ処理手数料も少なくて済んで、経済的です。



地域みんなで 資源集団回収

市では、町内会などの団体が行う資源集団回収に奨励金を交付しています。昨年度は570団体が参加し、合計約1,177万円を交付しました。

集団回収は、ごみ減量や資源のリサイクルを進めるだけでなく、ものを大切に^{大切に}する心を育み、地域のコミュニティづくりにもつながります。

町内会、子ども会、婦人会などで集団回収に取り組んでみませんか。新たに資源集団回収に取り組む場合は、市への団体登録が必要です。詳しくは環境都市推進課へお問い合わせください。

【奨励金の交付(①+②)】

- ①集団回収1回につき450円(同月に2回以上実施した場合、1回分として計算します)
- ②いずれも1kgあたりの単価
 - ・空きびん・空き缶▶1.5円
 - ・新聞・段ボール・紙パック▶2円
 - ・雑誌・雑がみ▶6円



問い合わせ

環境都市推進課
☎(888)5708

ホームページ

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/>

人にも地球にも やさしい あきたをめざして



雑がみも大切な資源 家庭ごみには入れないで



「雑がみ」とは

家庭から出る古紙のうち、新聞・チラシ、段ボール、紙パックのどれにもあてはまらない、その他のリサイクルできない紙類のことです。

雑がみも分別することで、資源としてお菓子の箱や絵本などに生まれ変わりが、家庭ごみも減らすことができます。

例えば…
▼トイレットペーパーの芯
▼お菓子や食品の空き箱
▼ティッシュユペーパーの空き箱
▼ビニール部分は外して
▼包装紙
▼使用済み封筒
▼教科書、ノート
▼カタログ など

異物は古紙再生のじゃま者

ビニールやセロハンなどの異物は取り除きましょう。また、臭いのついた紙や油で汚れた紙はリサイクルできませんので、家庭ごみに出してください。

雑がみのまとめ方・出し方

大きさがバラバラの雑がみは、使用済みの封筒や紙袋に入れてためておくとまとめやすいです。いっぱいになったら紙ひもでしばって、古紙の収集日に集積所へ出してください。



コンポスターを活用した 生ごみ堆肥づくり講座

コンポスター(生ごみ堆肥化容器)の活用法や、旧環境部敷地内で実践した事例をもとに解説するほか、堆肥化の発酵促進剤を身近なもので作る方法などを学びます。

時間はいずれも午前9時30分～11時。受講無料。先着各20人。

開催日と会場(各市民サービスセンター)

- 6月26日(火)▶南部 27日(水)▶東部
- 28日(木)▶北部 29日(金)▶西部
- 30日(土)▶中央(市役所3階)

申し込み

6月4日(月)午前8時30分から
環境都市推進課☎(888)5708